

■源行家(新宮十郎)
みなもとのゆきいえ
・・・・・・1145＝

武将。以仁王を令旨を諸国源氏に伝達し一斉蜂起を先導も、連戦連敗、義経と提携し頼朝に迫討された。

この頃、源為義の末子に生まれる。初名義盛。

為朝鎮西乱行1154＝ 9歳：

保元の乱・・・・1156＝11歳：

平治の乱・・・・1159＝14歳：_平治の乱で初陣するも、敗戦となり、戦場を脱出して、熊野新宮に逃亡。兄義朝は暗殺され、甥頼朝は伊豆に配流となるなか、新宮十郎と号し、平家を打倒すべく、潜伏生活。

・・・・・・1163＝18歳：

清盛太政大臣1167＝22歳：

・・・・・・1172＝27歳：

源氏一斉蜂起1180＝35歳：*源頼政の勧めで後白河院皇子以仁王にまみえ八条院藏人となり、行家と改名。平氏打倒のため王の令旨を、山伏に扮して、諸国の源氏に伝える役を与えられ、畿内で、主と頼政が挙兵する間、美濃から常陸の源氏の決起を促して回るが、秘密裡の作戦のはずが、平家に筒抜けだったようで、宇治で、以仁王は討死し、頼政は自害。ついに、伊豆の源頼朝に出会って挙兵を促すと、

平清盛没・・・・1181＝36歳：_独自に、数千騎を率いて尾張に入り、美濃との国境墨俣川で、平重衡・維盛の率いる平氏軍三万騎と対陣して、壊滅的な敗戦。子の行頼は捕えられ、頼朝の弟義円ら有力武士の多くが討死するなか、平氏の追撃をかわし、平氏追討のため伊勢神宮・延暦寺との提携を策すが失敗、鎌倉の頼朝のもとへ至って、所領を乞うが許されず、信濃に赴き、頼朝の従兄弟義仲の配下となって、

後鳥羽天皇・1183＝38歳：*義仲とともに、京都に攻め入って奪還に成功、後白河院に謁し、従五位下備前守に任じられ、院の昇殿を許されるが、義仲の転戦中に後白河院に讒言したらしく、義仲との間に不和が生じ、挽回すべく、3百弱騎を率いて、播磨室山に2万騎の平氏と戦って大敗し逃亡。その後、京都の公家の評判が悪くなった義仲が追討の対象になって上洛した義経・範頼の軍を支援、

・・・・・・1184＝39歳：_義仲の滅亡後も、河内・和泉に勢力を保持し、独自の行動をとったため、
平氏滅亡・・・・1185＝40歳：*頼朝から討伐される事態となり、身の安全をはかるため、院とも結んで、頼朝との不和が表面化した義経と提携し、頼朝追討の院宣を得て、四国地頭に補せられ、当初は勝利するものの、次第に追い詰められ、大物浦から船出したが難破し、奥州に逃れた義経とは別に、和泉国に潜伏したが、

九条兼実摂政1186＝41歳：*追手の平時定・常陸房昌明の軍に包囲されて捕らえられ、斬首された。